

# 造船技能伝承、尾道から全国に 因島技術センター

因島技術センターは1999年、尾道市因島地域の基幹産業である造船・船用工業の「技能伝承」と「次世代人材育成」を目的に、行政と造船・船用工業界が官民一体となって設立した職業訓練校だ。

尾道市近隣の造船・船用工業の企業や尾道市で協議会を運営し、事務局は尾道市因島総合支所しまおこし課内に置いている。独自の研修施設を所有せず、研修に必要な施設は実際に操業している工場施設を必要な期間だけ借用してさまざまな研修を実施している。科目は技能系、技術系、安全系に分かれている(表参照)。受講者数は年々増加して、尾道市近隣だけではなく、北海道からの受講者もいるという。これまで3226人が受講した(2012年6月

末現在)。

2001年1月には、広島県知事から造船・船用工業では全国初となる「共同認定職業訓練校」の認定を受け、研修における費用対効果の高さと研修修了者の企業定着率の高さから「人材育成の因島モデル」と呼ばれ、全国から高い評価を得ている。

2004年度は、国土交通省と日本財団の財政支援により、因島技術センターの事業モデルと研修ノウハウを業界全体で活用すべく、日本中小型造船工業会内に「造船技能開発センター」が設立され、その支援のもとで同様の研修センターが今治市、白杵市・佐伯市、横浜市、長崎市、相生市に設立。因島技術センターの取組みは全国に広がっている。こうした取組みが評価され、2005年に



は広島県知事表彰(認定職業訓練優良団体表彰)、2011年には厚生労働大臣表彰(同)を受賞している。

#### 因島技術センター運営協議会事務局

会長 秋吉公廣  
住所  
〒722-2392 広島県尾道市因島土生町7-4  
尾道市因島総合支所しまおこし課しまおこし係  
電話 0845-26-6212  
FAX 0845-22-3212  
E-mail insm.okoshi@city.onomichi.hiroshima.jp  
HP <http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/ito/index.html>

#### 因島技術センター事務所

〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2418-2  
日立造船株式会社因島工場 旧船舶総合事務所2F  
E-mail innoshima.gijutsu@ia6.itkeeper.ne.jp

	研修科目	実施場所	主な研修内容
技能系科目	初任者研修	日立造船因島工場 内海造船因島工場 アイメックス	造船技能の基礎・基本を学び、研修の修了後には現場の即戦力として活躍できるようにする。応用技能研修では、配属職種別に造船溶接、製缶溶接、造船組立、仕上組立一を選択して各種資格も取得する。
	撓鉄中級専門技能研修	三和ドック	プレスと線状過熱による深絞りの皿型、鞍型、捻れ板などの複雑な曲面外板の施工方法の習得を目指す。研修修了者は造船技能開発センター発行の「撓鉄2級」認定証が取得できる。
	溶接中級専門技能研修	日立造船因島工場	全姿勢での隅肉溶接方法、安合せ溶接方法、それぞれの手直し要領までの習得を目指す。研修の修了者は、日本海事協会の溶接士技量資格(要技量試験合格)と造船技能開発センター発行の「溶接・切断2級」認定証が取得できる。
	配管艦装初級専門技能研修	内海造船重井事業所	配管艦装の概要、ベンダー機器の取扱から管一品(Z型管)の製作方式、サポートとフランジの取付方法、合わせ管(L型管)の製作と取付方法までの習得を目指す。研修の修了者は、造船技能開発センター発行の「配管艦装3級」認定証が取得できる。
技術系科目	船舶海洋工学研修	日立造船因島工場	海上技術安全研究所と共同で実施する新人造船技術者の研修。海技研(本校)と因島技術センター(サテライト校)をテレビ会議システムで結んだリアルタイムでの受講が可能。
	PSPC塗装性能基準対策講座	尾道市芸予文化情報センター	PSPC(新塗装基準)の目的と対象、仕様書の概略、実際に施工する際の塗料選択、施工方法、品質管理、測定方法など、PSPCに対応するための施工管理ノウハウを短期集中で習得。(2010年度実施 今後の開催は未定)
安全系科目	安全体感研修	日立造船因島工場 内海造船因島工場	従来のテキストやDVD教材などでの安全教育ではマンネリが生じているため、新しい安全教育方法として製造業現場で実際に起きうる労働災害を事前に体感させ、安全意識の向上と危険回避能力の向上を図る。